

## 1 単元名 Unit 5 「Living with Robots - For or Against」 (New Horizon English Course 3)

## 2 単元の目標

- ・人やものについて説明する英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。 (外国語理解の能力)
- ・あることを知っているかどうかなどについて述べるができる。 (外国語表現の能力)
- ・議論を読んで、その内容を理解することができる。 (外国語理解の能力)

## 3 単元について

## (1) 教材観

本単元では、現在分詞と過去分詞を用いた後置修飾と間接疑問文などの新出の言語材料を用いて「ロボット」というテーマで学習をする。これまで学んできた形容詞や前置詞句を用いての修飾に加えて、後置修飾の用法を習得することで表現の幅が大きく広がると考える。さらに間接疑問文の用法を習得することで、日本語と英語の語順の違いや語と語のつながりに対する知識が深まると考える。また、本単元のテーマを通して、「ロボット」の進化と普及の利点と問題点に関する理解を深めることができる。これらの学習は自分の考えや理由を書く活動につながるものであり、自分の考えなどをまとまりのある文章で書くために最適な教材であると考え

## (2) 生徒の実態 (第3学年\*組 男子\*人 女子\*人 計\*人)

平成29年7月10日 実態調査結果

「将来の夢について」というテーマで英文を書きなさい。

- ・文章構成を意識しながら自分の考えと理由を書くことができた生徒 (14人)
- ・文章構成を意識せず自分の考えのみを書くことができた生徒 (23人)
- ・自分の考えを全く書くことができなかった生徒 (2人)

本学級の生徒に「将来の夢について」というテーマで英文を書くという実態調査を実施した。その結果、次のような実態が明らかになった。文章構成の特徴を意識しながら自分の考えと理由を書くことができた生徒が14人で、I want to be a vet.やBリーグ dream. My dream is a basketball player.のように文章構成を意識せず自分の考えのみを書くことができた生徒が23人であった。また、自分の考えを全く書くことができなかった生徒は2人であった。これまでも英文を要約し、自分の考えなどを書く活動を授業の中で取り入れてきた。しかし、自分の考えや理由などを友達と交流する場の設定や英文を書き直す機会が不十分であったため、自分の考えなどをまとまりのある文章で書くことができなかったと考えられる。

## (3) 指導観

生徒の実態を踏まえ、プロセス・ライティングの手法を取り入れた学習活動を工夫を通して、まとまりのある文章で自分の考えなどを書く力を高める。「計画・文章化・推敲」といった3つの過程に、考えを交流させる場の設定及び英文を書くためのガイドを活用する。計画と推敲の過程において、自分の考えと友達の考えを交流する場を設定することで、自分の考えをもつだけでなく、読み手が納得できる根拠と理由を考えることができるようにする。その際に、補助的な支援として自分の考えなどを整理するワークシートを活用することで、主題につながる根拠と理由を繰り返し見直すことができるようにする。文章化の過程において、英文を書くためのガイドを活用し、英文を書くための手順を段階的に示すことで、自分の考えなどを「主題・展開・まとめ」という3部構成の文章で、文と文のつながりを意識しながら書くことができるようにする。このようにプロセス・ライティングの手法を取り入れた学習活動に考えを交流する場の設定及び英文を書くためのガイドを活用することで、自分の考えなどをまとまりのある文章で書く力を高めることができると考える。

4 指導と評価計画（9時間扱い）

時	学習内容	評価基準	評価基準			
			関	表	理	言
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>分詞の後置修飾について学ぶ。</li> <li>新聞記事を読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人やものについて説明する英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。</li> </ul>			○	○
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>間接疑問文について学ぶ。</li> <li>対話活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あることを知っているかどうかなどについて述べることができる。</li> </ul>		○	○	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイダンス</li> <li>事前の意識調査と実態調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動の見通しをもつことができる。</li> </ul>	○			
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文を読み、内容を理解する。</li> <li>「住むなら都会か田舎か」についての自分の考えなどを話し合う。</li> <li>自分の考えなどを整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論を読んで、その内容を理解することができる。</li> <li>自分の考えをもち、理由を考慮することができる。</li> </ul>			○	○
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えなどを整理する。</li> <li>「住むなら都会か田舎か」についての自分の考えなどを整理し、英語で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち、理由を考慮することができる。</li> <li>3部構成の文章で、文と文のつながりを意識しながら書くことができる。</li> </ul>		○		○
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>「住むなら都会か田舎か」についての英文を紹介し合う。</li> <li>英文を書き直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み手が納得できる根拠と理由を考慮することができる。</li> <li>考えなどを再構築することができる。</li> </ul>		○		○
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文を読み、内容を理解する。</li> <li>「来日するALTの家族を連れて行くのは東京か京都か」についての自分の考えなどを話し合う。</li> <li>自分の考えなどを整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議論を読んで、その内容を理解することができる。</li> <li>自分の考えをもち、理由を考慮することができる。</li> </ul>			○	○
8 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「来日するALTの家族を連れて行くのは東京か京都か」についての自分の考えなどを英語で書く。</li> <li>「来日するALTの家族を連れて行くのは東京か京都か」についての英文を紹介し合う。</li> <li>英文を書き直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3部構成の文章で、文と文のつながりを意識しながら書くことができる。</li> <li>読み手が納得できる根拠と理由を考慮することができる。</li> <li>考えなどを再構築することができる。</li> </ul>		○		○
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>事後の意識調査と実態調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習活動を振り返ることができる。</li> </ul>	○			

5 本時の学習

(1) 目標 自分の考えなどをまとまりのある文章で書くことができる。 (外国語表現の能力)

(2) 準備物 ワークシート①～③(Worksheet for thinking), 電子黒板, タブレット端末  
和英辞書, 英語を書くためのガイド, 振り返りシート

(3) 展開

分	学習内容・内容	指導上の留意点・評価(評価は評)						
5	1 あいさつをする。 2 What am I? を行う。 (1) 東京スカイツリー (2) 八つ橋 3 学習課題を確認する。 「来日するALTの家族を連れて行くのは東京か京都か」についての自分の考えなどを書き、紹介し合い、書き直そう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よくあいさつをし、コミュニケーション活動の雰囲気作りを行う。</li> <li>・電子黒板に実際の写真を写し、生徒が意欲的にゲームに取り組めるようにする。</li> <li>・東京と京都の有名なものを答えにすることで、本時の学習に意欲的に取り組めるようにする。</li> <li>・本時の学習内容と目標を伝えることで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</li> </ul>						
15	4 自分の考えなどを英語で書く。 (1) 自分の考えなどを整理したワークシート①を見直す。 (2) 英語で書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に学習した内容を振り返る時間を確保することで、自分の考えや理由などについて再考させ、書く見通しをもたせる。</li> <li>・まずは個人で書かせ、英語で書くのが難しいときは和英辞書を使って調べたり、友達に聞いたりしてもよいことを伝える。また、書く際には文字をはっきりと濃く書くよう指示する。</li> <li>・机間指導をし、活動が滞っている生徒にガイドを参考にするよう声かけをする。</li> <li>・書き終わったらループリック評価表に基づいて自己評価をさせる。</li> </ul>						
10	5 考えを交流する。 (1) グループの友達とワークシート②に書いた英文を紹介し合う。 (2) 友達の英文を読んでさらに知りたいことや気付いたことなどのコメントをワークシート②に書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人グループでワークシート②を読み合い、その際にコメントを書くように指示する。</li> <li>・読んでもっと知りたいと思ったことやさらに付け加えたらよいと思うことなど、展開の内容を豊富にするための視点でコメントするように伝える。また、文法事項よりも内容面を重視してコメントするように伝える。</li> </ul>						
15	6 英文を書き直す。 (1) 友達からのコメントを参考にしながら書き直す内容を考える。 (2) ワークシート③に英文を書き直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート③のメモ欄を自由に使っても良いことを伝える。</li> <li>・まずは個人で書かせ、英語で書くのが難しいときは和英辞書を使って調べたり、友達に聞いたりしてもよいことを伝える。</li> <li>・英文の内容が変わってもよいことを伝え、考えを再構築する時間を設ける。また、書く際には文字をはっきりと濃く書くよう指示する。</li> </ul>						
	7 本時のまとめをする。 (1) ループリック評価表を使い、自己評価を行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">                             評 自分の考えなどをまとまりのある文章で書くことができる。(ワークシート)                         </td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>3部構成で、5文以上の英文を書くことができた。</td> <td>3部構成で、3文以上の英文を書くことができた。</td> </tr> </table> ・書き終わったらループリック評価表に基づいて	評 自分の考えなどをまとまりのある文章で書くことができる。(ワークシート)		A	B	3部構成で、5文以上の英文を書くことができた。	3部構成で、3文以上の英文を書くことができた。
評 自分の考えなどをまとまりのある文章で書くことができる。(ワークシート)								
A	B							
3部構成で、5文以上の英文を書くことができた。	3部構成で、3文以上の英文を書くことができた。							

5

(2) 次時の学習内容について知る。

自己評価をさせる。

- ・振り返りシートに本時で学んだことについて書かせる。